

# ふれあい

No.12

編集発行 上越市立春日小学校

## 「3学期スタート～あなたの目標は?～」

始業式は、2回に分けてオンラインで実施しました。画面越しでも各教室からはピンと張り詰めた雰囲気伝わってきました。最初に、各学年の代表が抱負を語りましたが、いずれも素晴らしく、聞いているこちらも「よし、やるぞ!」と意欲がわいてきました。式の終わりには、校歌を聞きました。「早く、みんなで歌いたいな」と思ったのは私だけではないでしょう。

私からはそれぞれ次のような話をしました。

<下学年(1～3年生)>

・とら年生まれの方は前向きでチャレンジ精神が強く、強い信念をもって挑戦していく人が多い。越後の虎といわれた上杉謙信もとら年だった。みんなもチャレンジ精神を発揮して、進級の準備を進めてほしい。

<上学年(4～6年生)>

- ・夢や願いの実現に向け1日1日を大切に、課題を先延ばしにせず早めに解決していくことが大切。
- ・「中学進学」、「最高学年」、「高学年」と次年度を意識して行動してほしい。

オンラインの集会は良い点が多いです。しかし、使用できるプロジェクターの不足、ネットワークの不安定さなど校内ICT環境の課題はたくさんあります。もう少し、スマートに使えるようにできるところから改善していきたいです。

## 「雪のある暮らし～どちらも大切!『遊び心』と『安全』～」

降っては消えていたグラウンドの雪も今はたっぷりと積もっています。晴れ間には、外に出て元気に雪遊びに興じる子どもたちの姿が見られます。「やっぱり、子どもはこうでなくっちゃ!」とうれしくなります。雪遊びでは、不安定な場所を移動する、登る、滑る、投げる、転がる・・・と運動の要素が多様です。さらに、造りたい形にすることも楽しみの一つです。機会を見つけてどんどん挑戦してほしいと思います。

しかし、忘れていけないのは「安全」の確保です。除雪車が作った山など、登りたくなるところですが、そこは想像力を働かせて危険を察知し、行動にブレーキをかけてほしいです。時々刻々と変化する雪の状態を理解するのは難しいことですが、雪遊び、雪かきの手伝い、ウィンタースポーツ等々、実際に雪に触れることで体験的に身に付くこともたくさんあります。さて、今後の雪の降り方はどうなることでしょうか。



\*\*\*\*\*

3学期開始直後、再び感染症の拡がりか危惧されています。お休みをする人の数は、週の初めに多く、週末に落ち着く傾向にあります。家庭等での基本的な感染対策や健康観察が丁寧に継続されていることを感じます。本当にありがとうございます。また、教育活動等の変更については前号でお知らせしたとおりです。ご理解、ご協力をお願いいたします。

[校長 星野 浩一]



# 5年生 ひまわり学年

～春日小のバトンをつないで～



## 金管練習が始まりました！

春日小の金管バンドもいよいよバトンタッチ。6年生から丁寧に説明を受け、体験活動に熱心に取り組みました。



「春日小の伝統のバトンをしっかりとつないでいこう。」「6年生の頑張りを見て学ぼう！」いよいよ6年生から春日小のバトンを引き継ぐ番になりました。6年生の見事な演奏を引き継げるように、金管練習に真剣に取り組んでいます。



秋、春に田植えをした「ひまわり米」を無事に収穫しました。地域のお米作り名人のご協力のおかげで、今年も大豊作となりました。全校の皆さんにも給食で食べてもらいました。もちもちとして甘くておいしい「みずほの輝き」は春日小伝統の推奨米です。



# 2年生 ひかり学年



## 秋野菜作り

9月からは秋野菜を育てました。かぶ、大根はみんなで、ほうれんそう、小松菜、ラディッシュはグループで育てました。間引きやナノクロ虫退治をして大切に育てました。

## 野菜スタンプTシャツ作り

秋野菜の葉やサツマイモに絵の具を付け、Tシャツにスタンプを押しました。世界に一つのTシャツができました。



## ひかり市

育てた秋野菜を「ひかり市」で販売することにしました。高田の四・九の市に出掛け、並べ方や値段の付け方の参考にしました。お家の方や先生方に買いに来てもらって、**にこにこ**笑顔が溢れました。

